

小寺康久社長に誓いの言葉を述べる新入社員
大垣市万石、大垣フォーラムホテル



村瀬幸雄頭取から辞令交付を受ける新入社員代表
岐阜市神田町、十六銀行本店



入社式 対面激励、徐々に

県内企業、感染対策配慮

県内の多くの企業で1日、入社式が行われた。新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインと対面を併用する企業があった一方、メッセージを直接伝えようと、感染対策を取って対面に戻す企業も目立った。経営トップは「挑戦」「成長」といった言葉で新入社員にエールを送った。

(鈴木隆宏、富樫一平、山本貴史、柴田洋希)

「未来へ成長」 トップら訓示

十六銀行は岐阜市の本店で2年ぶりに開催し、75人が入社した。村瀬幸雄頭取は10月に移行する持ち株会社化に触れ、「新たな挑戦には、従来にない発想を持つ若い力が必要。地域の発展に夢を持ち、共に未来を創ろう」と奮起を促した。

大垣共立銀行は大垣市内で開催。境敏幸頭取は、グループの新入社員114人に「変化は新しい発見のチャンス。発見があればアイデアが生まれ、実行に移せばイノベーションにつながる。OKBや地域を成長させよう」と語り掛けた。

バローホールディングスはグループのうち9社の合同入社式を多治見市内で開いた。田代正美会長兼社長は「想定外の事態を解決で

きるのは勘と度胸。勘は現場を知らないとは働かない。強い会社はコロナに負けな」と訓示した。全体で576人が入社した。

西濃運輸とトーカイは、オンラインとの併用で実施した。西濃運輸は大垣市内で76人が式に臨み、88人が配属先の全国12拠点から視聴した。小寺康久社長は「未来に向かい会社を成長させていく仲間として期待している」と激励した。

グループの199人が入社したトーカイは新入社員21人が岐阜市の本社に集まり、全国の拠点をリモートでつないだ。小野木孝二社長は「コロナ禍でわれわれが果たすべき役割は大きくなっている。一緒に社会に貢献しよう」と呼び掛けた。